

公益社団法人日本地球惑星科学連合
平成 25 年度第 3 回理事会議事録

1. 開催日時 平成 25 年 7 月 30 日 (月)
午後 2 時 00 分から午後 5 時 30 分
2. 開催場所 東京大学理学部 1 号館 8 階 843 号室
(東京都文京区本郷 7-3-1)
3. 出席者 理事数 20 名
出席理事 15 名 (定足数 11 名 会議成立)
出席監事 2 名
オブザーバー 3 名
4. 議長 理事 津田 敏隆
5. 出席役員
理事 津田 敏隆
理事 木村 学
理事 中村 正人 (Skype 出席)
理事 小口 高
理事 北 和之 (Skype 出席)
理事 古村 孝志
理事 杉田 倫明
理事 瀧上 豊
理事 竹村 恵二 (TV 会議出席)
理事 田近 英一
理事 成瀬 元
理事 畠山 正恒
理事 濱野 洋三
理事 松本 淳
理事 渡邊 誠一郎 (TV 会議出席)
監事 鈴木 善和
監事 松浦 充宏
6. 出席オブザーバー

宇宙惑星科学セクションプレジデント 大村善治
固体地球科学セクションプレジデント 大谷栄治
男女共同参画委員会委員長 小口千明

午後 2 時 00 分、理事の定数に足る出席があったので、会長津田敏隆は議長席に着き、開会を宣言した。

7. 報告事項

(1) ジャーナル関連報告 (津田会長) 資料 P.1-P.34

津田会長より新ジャーナルについて経過報告があった。7 月 24 日に、Springer 社と正式に契約した。契約日付は 7 月 10 日となった。宇宙惑星科学セクション選出の編集長が北海道大学倉本圭教授に決定した。編集長会議を三回開催して、Springer 社のジャーナルホームページやシステム構成に必要な事項を決定し、原稿依頼に必要な手紙、投稿要綱等を作成した。また連合が責任をもってこのプロジェクトを推進するという事を表明する為、Springer 社のジャーナルホームページにジャーナル経営企画委員会のメンバーも掲載することとした。

(2) 委員会報告

(2-1) 総務委員会 (古村総務委員長) 資料 P.35

古村総務委員長より 7 月末現在で共催・協賛・後援が決定された会合等の報告があった。共催が一件、協賛が四件、後援が一件、合計六件であった。

(2-2) 男女共同参画委員会 (小口男女共同参画委員長) 別紙資料

小口男女共同参画委員長より、同委員会の活動に関して報告があった。「女子中高生夏の学校 2013～科学・技術者のたまごたちへ～」へのポスター発表の参加準備中であり、グッズ提供を募っている。

また、昨年 1 1 月に実施された第三回大規模アンケートの報告書を作成中である。アンケートに協力した学協会は、自学協会のアンケートデータを、申込書に記入の上ガイドラインを順守して使用できる。

(2-3) 地質・地盤情報活用促進に関する法整備推進協議会

木村副会長より、「地質・地盤情報活用促進に関する法整備推進協議会」に関して報告があった。これは平成 25 年 1 月 31 日に日本学術会議より発表された「地質地盤情報の利活用と法整備の必要性に関する提言」を受けて立ち上げられたものであり、当連合津田会長もその会員として、また小口高理事も利活用検討ワーキンググループの委員として参加して

いる。現在法整備に向けた作業を進めている。

8. 審議事項

第1号議案 会員（正会員）入会承認の件（古村理事）資料 P.36-37

6月および7月は入会者がなかったため、審議事項としては取り上げず、退会者等の報告のみとなった。

第2号議案 日本地球惑星科学連合大会記念行事開催資金設定の件(古村理事)資料 P.38-39

新たに日本地球惑星科学連合大会記念行事開催資金を設け、連合大会記念行事の開催やこれに関わる準備経費として4年間かけて取り崩し、用いることを承認した。

第3号議案 日本地球惑星科学連合大会記念行事開催資金取り扱い規則制定の件（古村理事）資料 P.40-41

日本地球惑星科学連合大会記念行事開催資金取り扱い規定を制定することを承認した。

第4号議案 基本財産積み増し検討の件（古村理事）資料 P.42-44

第2号議案にて日本地球惑星科学連合大会記念行事開催資金の設定が承認されたため、基本財産を積み増しすることは見送られた。

第5号議案 連合大会システム改修の件（小口理事）資料 P.45-50

連合大会システムを改修することを承認した。改修内容は、A.プログラム編成システムにおいて口頭発表のコマ数を0.5コマ単位で割当てられるようにすること、B.プログラム編成システムを英語化し外国人コンビーナが編成処理を行えるようにすること、C.投稿システムの入力においてギリシャ文字等特殊文字、上付、下付き文字を入力可能にすること、である。

第6号議案 連合大会の記念行事の開催の件（古村理事）資料 P.51-52

連合大会25周年記念行事開催に向け、記念事業準備委員会（仮）を立ち上げることを承認した。委員は津田敏隆会長、川幡穂高副会長、木村学副会長、中村正人副会長、また第3号議案において承認された記念行事開催資金取り扱い規則6条に基づき、浜野洋三大会運営委員長、田近英一広報普及委員長、小口高情報システム委員長、古村孝志総務委員長、とする。

第7号議案 フェロー制度について（中村理事）資料 P.53-56

フェロー制度準備委員会の委員が承認された。委員は宇宙惑星科学セクションより田近英一理事、固体地球科学セクションより木村純一幹事、地球人間圏科学セクションより奥村晃史理事、大気水圏科学セクションより杉田倫明理事、地球生命科学セクションより西弘嗣理事、連合理事より中村正人理事、古村孝志理事、ウォリス サイモン理事、成瀬元理事、とする。

第 8 号議案 科学研究費補助金における国内出張旅費規則および外国出張旅費規則の改定の件 (古村理事) 資料 P.57-75

国内出張旅費規則および外国出張旅費規則の改定が承認された。新たな規則では、「科学研究費助成事業（科学研究費補助金）（研究成果公開促進費）国際情報発信強化（オープンアクセス刊行支援）」に係る事業のための旅費については他の事業のための旅費と異なり「東京大学旅費支給要領」の定に基づいて計算した額を支給するものとする。

第 9 号議案 選挙管理委員会メンバー選任の件 (古村理事) 資料 P.76

選挙管理委員会の委員が承認された。委員長に地球生命科学セクションより砂村倫成（留任）、委員には宇宙惑星科学セクションより行松彰、大気水圏科学セクションより川村賢二、地球人間圏科学より坪本裕之（留任）、固体地球科学セクションより篠原雅尚（留任）、浜田盛久（敬称略）が就任した。

第 10 号議案 選挙日程承認の件 (古村理事) 資料 P.77

代議員及びセクションプレジデント選挙日程案が承認された。

第 11 号議案 国際地理オリンピック支援の件（瀧上理事）資料 P.78-81

国際地理オリンピックから支援要請があったため、平成 25 年度公益社団法人事業計画に基づき、連合から 500,000 円を追加支援することが承認された。

第 12 号議案 事務局職員労働条件通知書の承認の件（古村理事）別紙資料

契約更新時期により事務局員と面談を行った。うち一名の時給を改訂することを承認した。またジャーナル編集部の職員を雇用することが報告された。また、これとは別に今後事務局員の労働条件の改善を検討することが報告された。

第 13 号議案 今後の国際戦略の件（津田会長）

連合の国際戦略について活発に議論がなされ、今後も国際戦略を検討してゆくことが確認された。具体的には大会の更なる国際化や、大会 25 周年記念と併せた AOGS、AGU 等の他大会と連携した事業を計画してゆくこととした。

第 14 号議案 大型プロジェクト「日本版 NIH」に対する提言の件（中村副会長）資料
82-83

第 2 回理事会で承認された通り「日本版 NIH」に対して提言を発表するが、今回の草案を元にさらに検討して改訂することとした。

議長は以上をもってすべての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。（午後 5 時 15 分）
以上の議事の要領及び結果を明確にするため、本議事録を作成し、出席議事は次に記名・押印する。（捺印欄配布時省略）

平成 25 年 7 月 30 日

公益社団法人日本地球惑星科学連合 第 3 回理事会

出席理事	津田	敏隆	印
出席理事	木村	学	印
出席理事	中村	正人	印
出席理事	小口	高	印
出席理事	北	和之	印
出席理事	古村	孝志	印
出席理事	杉田	倫明	印
出席理事	瀧上	豊	印
出席理事	竹村	恵二	印
出席理事	田近	英一	印
出席理事	成瀬	元	印
出席理事	畠山	正恒	印

出席理事 濱野 洋三 印

出席理事 松本 淳 印

出席理事 渡邊 誠一郎 印